

「まちづくりミーティング」開催結果概要

参加者	群馬大学国際センター専任講師 越智 貴子 群馬大学国際センター公認学生団体 Le Pont（ルポン）13名 海外学生 1名 小計 15名 桐生市長 荒木 恵司 一般傍聴者 5名 報道機関 3名 計 24名
日時	令和3年9月29日（水） 午後3時00分～午後4時10分
会場	桐生市役所 議事堂2階 正庁3
テーマ	多文化共生・共創社会の実現に向けた環境整備と魅力発信 (市長公約 国際化に伴う外国人材との共生と環境整備)

<内容>

- 1 開会
- 2 あいさつ

市長

群馬大学国際センター専任講師 越智 貴子 様

- 3 議題

多文化共生・共創社会の実現に向けた環境整備と魅力発信

■ 市長からテーマについて説明

市長	<p>まず最初に、本日のまちづくりミーティングの開催テーマである「多文化共生・共創社会の実現に向けた環境整備と魅力発信」について、Le Pont（以下「ルポン」という。）の皆様にお願ひした内容などを私から説明し、その後にルポンのみなさんからプレゼンをいただき、意見交換を行うことで進めたい。</p> <p>本市における日本人住民数は減少傾向にあるが、外国人住民数と桐生管内の外国人労働者数は増加傾向にある。</p> <p>本市では製造業を中心とする企業が多く立地していることから、技能実習生の受入れも含め、今後もこうした傾向は、続いていくことが見込まれることから、多文化共生社会に向けた取組を進める必要があると考えている。</p> <p>また、群馬大学には令和2年4月1日時点で255人の留学生在籍しており、桐生キャンパスの理工学部には院生も含めて、そのうちの約150人の留学生の方々</p>
----	--

	<p>在籍している。</p> <p>その留学生の方々が桐生に住んでいたにも関わらず、あまり桐生市のことを分らないまま帰国してしまっているのではないかと感じており、桐生市のことをもっと知ってもらい、桐生市のことを発信できるスポークスマンとして、自国に戻った後も様々なメディアを通じ、広くPRしてほしいと考えていた。</p> <p>また、Yield（イールド）という学生団体から、桐生市は教授の先生との意見交換だけでなく、もっと学生との意見交換の場、交流をする機会を設けてほしいといった意見をもらったこともあり、学生の方々が、桐生に住んで良かったなと思えるような取組ができるよう、今回の意見交換も含め取り組んでいきたいと考えていた。</p> <p>このほか、現在はコロナ禍においてインバウンド需要を取り込める状況ではありませんが、コロナが落ち着いた後には日本遺産の構成文化財である重伝建地区を中心に、海外からの観光誘客を積極的に進めたいと考えている。</p> <p>それらの取組を進めたいと考え、「国際化に伴う外国人材との共生と環境整備」を公約に掲げ、桐生市役所に女性活躍・多文化共生担当を設置するなど、具体的な取組をまさに進めようとしていたところ、ルポンの皆様の活動を知り、</p> <p>施策の方向性①「多文化共生社会に向けた環境整備」として、在住外国人の桐生市で暮らすことの困りごとを解消するとともに、ルールや文化を知ってもらうための環境を整備し、共生社会を実現していくための取組。</p> <p>施策の方向性②「外国人材による桐生市の魅力発信」として、留学生に桐生市を「第二の故郷」だと思ってもらい、母国に向けて桐生愛を届けたいような取組や桐生市への関心が桐生に来たい、交流したいといった行動に結び付くような取組。</p> <p>これらの取組の企画をルポンの皆様にお願ひした。</p> <p>本日は、このお願ひに対し、具体的な企画をプレゼンいただけるとのことで、今日を本当に楽しみにしてきたので、よろしくお願ひしたい。</p>
--	---

■プレゼンテーション

越智先生	<p>最初にルポンについて説明する。</p> <p>群馬大学国際センター公認の学生団体で、2018年12月に設立され、主に国際交流活動を中心に行い、多言語・文化共生を促進している。</p> <p>全国的にこうした活動を行う団体はあるが、他の団体と異なるのは、ルポンでは必ず政府・企業自治体と連携して国内海外の国際交流事業を実施する点である。</p> <p>ルポンが目指していることはシンプルであり、国際交流で、地域・国際貢献をすること</p>
------	---

	<p>である。</p> <p>現在、全学部、留学生、海外の学生も含め、82名の学生が参加し、活動している。</p> <p>これまで、学生が興味のある分野や専門知識を活かした地域・国際貢献をするための取組を進めてきた。その中で、群馬大学の地方創生事業にも採択された取組を富岡市と前橋市で進めている。</p> <p>それでは、桐生市から依頼された内容について、学生が多文化共創プラットフォーム「Kiryu Network」の開設（案）を企画したので、説明をさせてもらう。</p>
<p>学生</p>	<p>多文化共創プラットフォーム「Kiryu Network」とは、桐生市に住む外国人の方々の交流と桐生市のデジタルプロモーションを目的としたオンラインプラットフォームである。</p> <p>この提案を行う理由は2つあり、1つは、桐生市が抱える課題の解決である。</p> <p>桐生市には約1,900人の外国人が居住しているが、その事実をあまり知られていない。日本と海外では生活のルールの異なるものがある。</p> <p>例えば、ごみ捨てや手続き等、これらを外国人の方々に周知するには言語の問題があり、コミュニケーションが取れない現状である。</p> <p>桐生市が誰にとっても快適に住むまちとなるためには、これらの課題解決が必要であると考えた。</p> <p>理由の2つ目は桐生市のプロモーションである。桐生市には様々な魅力があり、また、発見されていない魅力もあると考える。</p> <p>外国人の方々と桐生市の魅力を発見し、全国・海外に発信することで、より桐生市が活性化したまちになるのではないかと考えている。</p> <p>それらの理由から、桐生市に住む外国人の交流と桐生市のデジタルプロモーションを目的としたオンラインプラットフォーム「Kiryu Network」を構想した。</p> <p>「Kiryu Network」には4つの機能が備わっている。</p> <p>1つ目の機能は、Data Base プロファイルである。桐生在住の外国人を対象に、個人情報登録・公開（一部非公開）し、2つ目のマッチングで使用する。Data Base プロファイルでは、個人の名前や生年月日等の基本情報のほか、出身地や就職のために必要な情報も入力してもらう予定である。情報には、必須公開のものと、公開と非公開を選択できるものがあり、群馬大学と桐生市、FPT で管理することを考えている。</p> <p>2つ目の機能はマッチングである。一つ目の機能でData Base に登録した情報を基に、外国人材と日本企業の就職やアルバイトのマッチングを行う。また、外国人同士の交流を促進する機能も持たせている。この機能は企業の方でも外国人でも使用す</p>

	<p>ることができるものとなる。</p> <p>3つ目の機能はサービスである。桐生市で生活していく中で抱える疑問や課題等をAIの活用により解決することを考えている。桐生市に住む外国人の方々が安全安心に生活できるよう、多言語AIがチャット形式で生活に関する疑問を解消する。手書きの文字の認識機能や日本語の通知書の言語変換の搭載も検討している。</p> <p>4つ目の機能は桐生関心度UPである。</p> <p>この機能について、私たち学生ががんばっていきたい機能である。ここでは多くの人に桐生市の関心度を高めるもらうために、桐生市のモノ・コト・コンテンツを学生記者が取材し、多言語で全国・海外に発信する。また、群馬大学に通う留学生や海外協定校の外国人学生や、桐生市に住む外国人の方々と協力し、観光ツアープランを計画・提供したい。</p> <p>「Kiryu Network」はアプリまたはウェブでの運用を考えている。</p> <p>対応言語は、日本語、英語、ベトナム語等を考えている。</p> <p>機能に関するもののほか、広告欄を設け、登録企業の広告を掲載したい。</p> <p>今後の予定について、設計を2021年10月末までに開発システムの具体内容の要件をまとめ、群馬大学桐生キャンパスの学生と海外同窓会の海外留学生とで進める予定である。</p> <p>次に開発については、2022年2月末までには、群馬大学学生団体ルポンとFPT（FUNiX）との合同開発をはじめ、3月にはシステムを公表し、試行を重ねていく予定である。</p>
越智先生	<p>FPT 大学とは、群馬大学国際センターと協定を締結している海外の大学であり、現在群馬大学が構築を進めているオンライングローバルキャンパスのシステムを担うのがFPT（FUNiX）となる。</p> <p>今般の取組は群馬大学国際センター、群馬大学公認学生団体ルポン、FPT（FUNiX）と一緒に、桐生市の多文化共創プラットフォームを作っていきたいと考えている。</p> <p>ルポンとはフランス語であり、日本語で“架け橋”を意味する言葉である。桐生の日本人と外国籍の方々の区別なく、外国籍の方に選ばれる、また、市民の方々と共創できるまちづくり、人材づくり、環境づくりが行っていききたいと考えている。</p> <p>私たちの提案について、確認いただき、後ほど意見をもらいたい。</p>

■海外学生からの意見

越智先生	<p>それでは、引き続き、国内にいる日本人学生と留学生のほか、海外協定校の大学生も海外から参加をしてくれているので、海外の学生がこの「Kiryu Network」のような期待を持って、取り組みたいと思っているのか、また、彼らから見た桐生のイメージを聞いてみたいと思う。</p>
<p>学生 (越智先生通訳)</p>	<p>群馬大学の留学生であるが、新型コロナウイルスの影響により、来日ができず、日本、群馬県、桐生市のことをまだ知らないが、「Kiryu Network」の中に情報があふれてくれば、物理的に離れていても桐生市を知ること、心理的に近づくことができるのではないかと考える。</p> <p>例え、桐生に住んでいたとしても、外国人は外国人として桐生に住むこととなり、そのギャップを埋めることはできないものと捉えている。</p> <p>言語、生活のルール、文化的なルールが異なるので、埋めることは難しいが、「Kiryu Network」の機能にあるマッチングを使うことで、外国人と日本人、また外国人同士のコミュニケーションを上げていくことができ、ギャップを少なくしていくことができるのではないかと考える。</p> <p>また、「Kiryu Network」に貢献したいと考えている。人と人のコミュニケーションは言語がスタートになることから、私は日本語、英語、中国語も話すことができるので、その3言語を用いて桐生のことを外国の方に知ってもらうために発信したい。その一方で、桐生の方にも台湾のことを知ってもらいたい。</p>
<p>イタリアの海外学生 (越智先生通訳)</p>	<p>イタリアフィレンツェ大学の学生である。日本にはまだ行ったことがない。</p> <p>インターネットで調べたが、桐生がこんな街だということイメージできる映像が浮かばないので、説明は難しい。</p> <p>そのため、「Kiryu Network」に情報を掲載する際には画像や映像を入れ、視覚的に桐生市のイメージを伝えることが重要であると考えている。</p> <p>小さいころからの夢として、他国の文化等を母国のイタリアに伝えることをしたいと思っていたので、桐生市のことをもっとよく知って、イタリアでプロモーションしたい。</p> <p>この取組の私の役割は群馬にいる学生からもらった情報を基にイタリアフィレンツェでアンバサダーのように桐生市のことを広めていくことなので、取り組んでいきたいと考えている。</p>
越智先生	<p>ここまで、今般の提案内容と海外学生が「Kiryu Network」活用により、桐生市を活性化したいといった意見を聞いてもらった。</p> <p>私たちルボンも含め、桐生市に住んでいても、いなくても自分事として捉え、日本と海外で同時にプロモーションしたいと考えており、その手法として、デジタルトランスフォー</p>

	メーションを活用して一気に加速していきたいと考えている。
--	------------------------------

■意見交換

市長	<p>「Kiryu Network」が持つ可能性について、非常に楽しみだと感じた。</p> <p>本日のテーマである外国人の方々の困りごとの解決やルール、文化、桐生市のことを知ってもらおう。また、桐生市のことを PR するにはどうしたらよいのか、これらが「Kiryu Network」の構築により、効果的に実施できるのではないかと考える。</p> <p>それでは、ここからいくつか質問させていただき、意見交換をお願いしたい。</p> <p>桐生市での取組として、「Kiryu Network」を企画した経緯や理由について伺いたい。</p>
越智先生	<p>今般の桐生市から依頼された内容が、桐生市で生活をしている外国人の活用・活躍と、実際に暮らす中での困りごとの解消であった。</p> <p>この二つを解決するためにはどのような手法が良いかを考えた際に、前橋市や富岡市のように空き家を活用した取組ではなく、プラットフォームを作ること、課題解決とデジタルプロモーションの両方を進めることができると考えたものである。</p> <p>このプラットフォームの構築により、様々なニーズに応えながら、課題解決や人材のマッチングも可能になるので、提案をさせてもらった。</p>
市長	<p>「Kiryu Network」の中で外国人の方々同士、また、桐生市の方々との交流も持ってもらえるものと思う。</p> <p>そこで、桐生市の中には様々な祭りや地域行事があり、たくさんの団体が同時多発的にイベントを行っているが、活動を続けていくにはボランティアの協力が必要になってくる。そうした中で外国人の方々や群馬大学の学生の方々に地域に入ってもらって、交流人口だけでなく、関係人口としてより親密になれるような取組にしていきたいと考えている。</p> <p>今般の「Kiryu Network」において、そうしたイベントの際のボランティアのマッチングはできるようになるか。</p>
学生	<p>本日参加する学生は 1 年生が主であることもあり、桐生市に足を運んだことがあまりないが、さきほど説明を行った学生記者による取材だけではなく、地域の方々と関わる機会をもらえることは嬉しいので、ぜひ参加したいと考える。</p> <p>そうしたことも含めて今般の取組を進めていきたい。</p>

学生	<p>今般のシステムである FPT (FUNiX) 内で構築は可能であり、この「Kiryu Network」の中で、ボランティア活動を主催する側が活動や募集内容を紹介する場（フォーム）を設けることで、外国人と日本人をマッチングすることが容易にできるようになるのではないかと考える。</p>
市長	<p>そうしたところまで踏み込んでもらい、群馬大学の学生も、留学生、外国人の方も密接に多くの桐生市民に関わってもらい、交流が持てると良いと思う。</p> <p>また、地域の方々もそれを望んでいると思うので、ぜひ具現化に向けて一緒に取り組みたいと思うのでよろしく願いしたい。</p> <p>ここからは、桐生市について私に聞いてみたいことや意見等があればお願いし、それを伺いながら意見交換を行いたい。</p>
越智先生	<p>それでは、まず学生が桐生市のイメージや、こういう取組を行いたいといった案を伝えたいと思う。</p>
学生	<p>群馬県が出身なので、「上毛かるた」にあるとおり、桐生市は桐生織、織物が盛んといったイメージがある。</p>
学生	<p>同じく、日本史の教科書にも桐生織の記述があり、西の西陣、東の桐生という言葉もあるので、織物が盛んであるとのイメージが強くある。</p>
学生	<p>桐生市には群馬大学の理工学部があるので、そこに行ったことがあるぐらいだが、桐生市のことを調べると、歴史ある落ち着いたまちというイメージがある。</p> <p>戦争で空襲を逃れたことから、再開発がされず、歴史ある昔の街並みが残っており、その雰囲気はレトロでモダンといった印象である。映画の撮影でもよく使われているので、前橋市とは異なる古い街並みの残るまち、といったイメージを持っている。</p>
学生	<p>桐生市で食べたラーメンやご飯はボリュームがあり、美味しかったので、桐生市は食の質が高いイメージを持っている。</p>
越智先生	<p>市長から冒頭に日本遺産の説明があったが、「Kiryu Network」を使ったプロモーションと絡めた意見はどうか。</p>
学生	<p>桐生市のことを調べ、白瀧神社のストーリーが気になり調べた。桐生市には白瀧神社も含め、宝徳寺など、様々な神社や寺があるようなので、御朱印をもらうなどしながら</p>

	ら、それらを巡るツアーを企画することを考えたい。
学生	<p>桐生新町重要伝統的建造物群保存地区では、古民家をリノベーションしたレトロな建造物が多数見られ、おしゃれなカフェやパン屋、うどん屋などがあり、何度も訪れたい場所であると思う。</p> <p>この地区のグルメスポットの取材を行い、歴史的背景も交えた記事を作成し、桐生市の魅力を発信したいと考えている。</p>
越智先生	<p>同じ場所の紹介でも、そこにストーリーを付与することで、与えられるイメージは異なると思うので、そこも意識して取り組みたいと考えている。</p> <p>市長への質問はいかがであるか。</p>
学生	<p>桐生市のイメージについて、先ほどのプレゼンテーションにおける資料や他の学生からの意見のとおり、レトロでモダン、レトロモダンといったイメージを持って、テーマを作り取材をしたいと考えているが、市長の考えるプロモーションのイメージと相違はないか。</p>
市長	<p>これまで桐生市では“ファッションタウン”や“シルクタウン”といった言葉を使ってきたが、“レトロモダン”、古いものもありながら近代的なものも感じられるイメージをこの言葉の中に創ってもらったのかなと思うが、新しい桐生市の発信として、“レトロモダンなまち桐生”というのも非常に面白いと思う。</p> <p>桐生市にはさきほどの学生からの意見にも出てきた白瀧神社や桐生新町重要伝統的建造物群保存地区などの日本遺産の構成文化財が6カ所ある。そのテーマ、ストーリーとなっているのが、「かかあ天下 ぐんまの絹物語」であり、女性が活躍したストーリーが日本遺産とされているものである。</p> <p>桐生市を作ってきた歴史背景には女性の力があり、これは非常に大きなことだと考えている。</p> <p>かかあ天下の言葉の由来は、織物の製造工程である例えば、養蚕、撚糸、機織りまでのすべての作業を女性がやっていた、旦那さんがうちのかみさんは天下一だと言っていたことが元となっており、今では日本を代表する女性の代名詞となっている。</p> <p>ぜひ、“レトロモダン”の言葉の中には、女性を絡め、桐生らしさを更に発揮できるような取組にしてほしいし、市もしていきたいと考える。</p> <p>また、先ほどの意見の中に上毛カルタがあったが、「桐生は日本の機どころ」として、桐生市は1300年の歴史がある織物のまちである。織物技術を桐生市に伝えたのが白瀧姫であり、その白瀧姫を祀っているのが白瀧神社である。</p> <p>桐生新町重要伝統的建造物群保存地区の意見もあったが、現在、天満宮から本町一、二丁目の電線を地中化し、車道と歩道を石畳にするなど、一体的な整備を</p>

	<p>進めている。</p> <p>そうした、ハード的な整備に加え、学生の皆様の知恵やアイデアをいただきながらソフト面も取り組み、一緒になってまちを作り上げていきたいと思うので、よろしく願いしたい。</p>
越智先生	<p>学生から市長の考える桐生市の魅力について、聞いておきたいとの意見があるので、お願いしたい。</p>
市長	<p>桐生市の魅力はたくさんある。</p> <p>まず、山紫水明、山があり、風景がきれい、自然が豊かであること。桐生川や渡良瀬川が流れ、まちなかから5分車で行けば梅田地区という、京都でいうところの鞍馬の涼が感じられる桐生川の畔があり、自然豊かなところである。</p> <p>次に、先程説明を行った織物文化、織物のまちである。市内にはノコギリ屋根工場という建造物が多数残っている。屋根がノコギリのような形をしており、北側に窓を付け、安定した明かりを入れられるようにした織物工場の代表的な造りである。従来の織物工場として使用しているところもあれば、美容院やレストラン、カフェなど利活用しており、ものづくりの文化が根付いているまちでもある。</p> <p>そうした中で、桐生市内の空き家・空き店舗を活用して、首都圏から新たに起業する若者が増えてきている。“小さくてもキラリと光るビジネスチャンスがあるまち”をキーワードにし、多くの方々に起業してもらい、桐生のまちで付加価値のある品物を作ってもらえるよう、そうした取組を応援したいと考えている。</p> <p>そうした自然豊か、ものづくり文化が根付いたまち、先人たちが残した歴史的建造物が豊富にあるまち、これらが桐生市の大きな価値、魅力であると考えている。</p> <p>もう一つ、ソフトの部分で、桐生市は自らのまちに誇りと愛着を持って、自らのまちは自らで作らなければならないといった郷土愛と自治意識を持つ人に溢れるまちである。</p> <p>こうした人たちが溢れば、今後どのような状況になっても桐生市は必ず輝きを持って発展していくものと考えている。</p> <p>こうした点も桐生市の魅力であり、今後もこうしたソフトの面も含め市の政策を進めたいと考えている。</p>
越智先生	<p>そうした市長の考えも「Kiryu Network」を構築していく中で取り入れていきたいと考える。</p> <p>それでは、最後にもう一人市長に質問をさせてもらいたい。</p>
学生	<p>ルポンでは、日本人と外国人に関係なく活動をしたいと考えている。今後の取組を進めるに当たり、群馬大学の学生以外で、桐生市に直接関係はないが、桐生市に魅力</p>

	<p>を感じている人や、応援したいという気持ちがある人がまちづくりに参加することについて、良いことだというふうに捉えてもらえるか。</p>
市長	<p>とても良いことだと考える。</p> <p>桐生市には群馬大学の桐生キャンパスがあることから、学生の方々を身近に感じており、愛着があるので、桐生市のことをたくさん知ってもらい、桐生市に住んでよかったなと思ってもらいたい。そうして、母国や地元等に戻った後も、桐生市のことをPRしてもらえたらありがたい。</p> <p>それは、群馬大学の学生に限らず、住んでいなくても桐生市に愛着をもってもらえる方が一人でも二人でも増えて、関わりを持ってくれるならば大歓迎し、みんなと一緒に、意見交換し、新しいまちを創っていけるようしていきたい。</p>
越智先生	<p>それでは、時間の都合もあるので、学生からの質問はここまでとさせていただきたい。</p>
市長	<p>今日のこの機会を皮切りに、意見交換を行う場を設けていきたい。また、私だけでなく、職員とも意見交換ができる場を設けられると良いと考える。</p> <p>多文化共生・共創の実現に向けた取組を進める中では、こうした機会を設けながら、みなさんが桐生を好きになってもらい、充実した学生生活を送れるよう、取り組んでまいりたい。</p> <p>本日は、本当に素晴らしい企画とプレゼン、また海外学生からも意見をいただき、御礼申し上げます。</p>
越智先生	<p>まちづくりが誰の何のためなのかを考えたとき、まちづくりは自分づくりにも繋がると思う。学生が自分事として積極的に関わることができるよう、今回の機会を活用し、取り組んでいきたい。</p>
市長	<p>先生のお力添えをいただきながら、学生との意見交換をたくさん行い、進めたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。</p>

4 閉会